

2026年度後期分 授業料免除及び徴収猶予申請書(日本人学生)

◎申請者(2026年10月1日現在の状況を記入すること)

ふりがな			学籍番号			入学年月	年	月
氏名								
課程・専攻	大学院		課程		専攻		回生	
住所 (現住所を記入)	〒		都府県		☐ 自宅通学 ☐ 自宅外通学			
					連絡先	携帯電話		
						メールアドレス		
						自宅電話(実家)		
標準修業年限の超過	☐ 超過していない ☐ 超過している ※超過している場合、申請することができません。		長期履修学生制度の利用の有無	☐ 利用している ☐ 利用していない 許可された長期履修期間： 年				
休学期間の有無	☐ 休学期間なし ☐ 休学期間あり(休学期間： 年 月)							
日本学生支援機構 授業料後払い制度 申請の有無			☐ 採用者 ☐ 申請中(予定) ☐ 申請しない					
授業料徴収猶予に関する審査について			☐ 希望しない ※徴収猶予を希望しない場合のみチェックしてください。					

◎申請理由

☐ 経済的理由により納付が困難 ☐ 申請前6ヶ月以内における学資負担者の死亡(新入生は入学前1年以内) ☐ 申請前6ヶ月以内において本人又は学資負担者が風水害等の災害を受けた(新入生は入学前1年以内) ☐ その他()
--

・授業料の減免を必要とする理由、経済状況について※詳細に記載すること

◎世帯について 下記に該当するものがあれば全てチェックすること。

☐ 一人親世帯 両親がいない世帯	☐ 独立生計	☐ 生活保護受給世帯
☐ 災害等に被災した	被災年月日	被災種別 火災・風害・水害・その他()

◎各種制度への申請状況について

申請種別	申請状況
2026年度前期分授業料免除及び徴収猶予	☐ 申請した ☐ 申請していない
2026年度入学料免除および徴収猶予【2026年度新入生のみ】	☐ 申請した ☐ 申請していない

※大学記入欄(何も記入しないこと)

書類確認①			書類確認① 独立生計者			書類確認②	データ入力確認		学力基準	家計基準
住民票	所得証明 1	所得証明 2	様式5	保険証(写)	扶養でない証明		確認者①	確認者②		

◎家庭状況報告書

○生計維持者

続柄	氏名	年 齢	別居	勤務先（会社名、自営業、無職、年金収入等）を詳しく記入	勤続年月数
					年 月
					年 月

○生計維持者の収入に関する事項

- ※ 生計維持者(原則として父母)の収入に関する証明書（課税証明書、源泉徴収票、確定申告の写等）を確認して金額を記入
- ※ 父母がいない場合、実際の生計維持者(祖父母や叔父等)の収入に関する証明書（上記と同じ）を確認して金額を記入。
- ※ 独立生計者は、本人と配偶者がいる場合、配偶者の収入に関する証明書(上記と同じ)を確認して金額を記入。

(千円未満切り捨て)

続柄	氏名	「給与収入」に当てはまるもの						合 計			「給与以外の所得」に当てはまるもの						合 計		
		①給 与		②年 金		③その他		①+②+③			④自営業		⑤その他		④+⑤		④+⑤		
			千円		千円		千円		千円			千円		千円		千円		千円	
			千円		千円		千円		千円			千円		千円		千円		千円	

○本人及び兄弟姉妹の就学状況

- ※ 「設置者」及び「学校種別」については、該当するものに○を付けること。
- ※ 同居していても、生計維持者ではない祖父母等、社会人の兄弟姉妹については、記入不要。

就学者（大学及び高等専門学校）	続 柄	学 校 名	学校種別	学年	設置者	氏 名	通学の別	修学支援新制度の有無
	本人	奈良女子大学	大学院		国立		☐ 自宅 ☐ 自宅外	
			大学院 大 学 高 専		国立 公立 私立		☐ 自宅 ☐ 自宅外	
	兄弟姉妹の 授業料免除の状況		2025年度前期分授業料免除結果 ☐ 全額免除 ☐ 2/3額免除 ☐ 半額免除 ☐ 1/3額免除 ☐ 1/4額免除 ☐ その他一部免除 ☐ 免除無 免除額（ 円）				2025年度後期分授業料免除結果 ☐ 全額免除 ☐ 2/3額免除 ☐ 半額免除 ☐ 1/3額免除 ☐ 1/4額免除 ☐ その他一部免除 ☐ 免除無 免除額（ 円）	
			大学院 大 学 高 専		国立 公立 私立		☐ 自宅 ☐ 自宅外	
就学者（上記以外）	続 柄	学 校 名	学校種別	学年	設置者	氏 名	通学の別	高等学校等就学 支援金の有無
			小・中・高 ・専修（高等） ・専修（専門） ・特別支援学校		国立 公立 私立		☐ 自宅 ☐ 自宅外	
			小・中・高 ・専修（高等） ・専修（専門） ・特別支援学校		国立 公立 私立		☐ 自宅 ☐ 自宅外	
就学生計 家族を維持 除く・	続 柄	氏 名	年 齢	別居	所属先（予備校名、無職等）を詳しく記入			備考

○特別な事情がある世帯(生計維持者が扶養する家族に限る)

☐ 障害者がある	続柄	氏名	障 害 の 程 度

奈良女子大学長 殿

私は、2026年度後期分授業料の免除及び徴収猶予を受けたいので、許可くださるよう必要書類を添えて申請します。

申請にあたり上記に記入する事項及び提出する書類は事実と相違ありません。

これに虚偽の事実がある場合は免除された授業料を速やかに納付します。

年 月 日 申請者署名：

2026年度後期分 授業料免除及び徴収猶予申請書(日本人学生)

「2026年10月1日現在」の状況を記入。

◎申請者(2026年10月1日現在の状況を記入すること)

ふりがな	ナラジョ ハナコ		学籍番号	26000000	入学年月	2026 年 4 月
氏 名	奈良女 花子					
課程・専攻	大学院	博士前期	課程	人文社会学	専攻	1 回生
住 所 (現住所を記入)	〒000-0000 0000		都 道 府 県	☐ 自宅通学 ☒ 自宅外通学		
	00市 00町 00丁目2-3-4			携帯電話	090-1234-5678	
					hanako@dokomo.ne.jp	
				自宅電話(実家)	0123-45-6789	
標準修業年限の超過	☒ 超過していない ☐ 超過している ※超過している場合、申請することができません。		長期履修学生制度の利用の有無	☐ 利用している ☒ 利用していない 許可された長期履修期間： 年		
休学期間の有無	☒ 休学期間なし ☐ 休学期間あり(休学期間： 年 月)					
日本学生支援機構 授業料後払い制度 申請の有無	☐ 採用者 ☐ 申請中(予定) ☒ 申請しない					
授業料徴収猶予に関する審査について	☐ 希望しない ※徴収猶予を希望しない場合のみチェックしてください。					

独立生計者は、「☐ 自宅通学」にチェック。

◎申請理由

- ☒ 経済的理由により納付が困難
- ☐ 申請前6ヶ月以内における学資負担者の死亡(新入生は入学前1年以内)
- ☐ 申請前6ヶ月以内において本人又は学資負担者が風水害等の災害を受けた(新入生は入学前1年以内)
- ☐ その他()

・休学期間を除いた在学期間が標準修業年限内の場合は、「超過していない」にチェック。
・長期履修生は、長期履修が認められている期間内は「超過していない」にチェック。

・授業料の減免を必要とする理由、経済状況に

・申請理由で該当する欄一つに必ずチェック。

・該当する理由がない場合は、その他の()内に申請理由を記

◎世帯について 下記に該当するものがあれば全てチェックすること。

☐ 一人親世帯 両親がいない世帯	☐ 独立生計	☐ 生活保護受給世帯
☐ 災害等に被災した	被災年月日 年 月 日	被災種別 その他()

前年度後期分の授業料免除制度、入学年度の入学料免除に申請した場合は、それぞれ「☐ 申請した」にチェック。

◎各種制度への申請状況について

申請種別	申請状況
2026年度前期分授業料免除及び徴収猶予	☐ 申請した ☒ 申請していない
2026年度入学料免除および徴収猶予【2026年度新入生のみ】	☐ 申請した ☒ 申請していない

※大学記入欄(何も記入しないこと)

書類確認①	書類確認① 独立生計者	書類確認②	データ入力確認	学力基準	家計基準
住民票 所得証明 1 所得証明 2	様式 5 保険証(写) 扶養でない証明		確認者① 確認者②		

○生計維持者

○生計維持者の収入に關する事項

- ※ 生計維持者(原則として、世帯主)は、本人及び配偶者の収入の合計額を記入し、その平均額を記入する。
 ※ 父母がいない場合、実親の収入を記入する。
 ※ 独立生計者は、本人と配偶者がいる場合は、二人の収入の合計額を記入し、その平均額を記入する。本人と配偶者がいない場合は、本人の収入を記入する。

(千円未満切り捨て)

○本人及び兄弟姉妹の就学状況

- ※ 「設置者」及び「学校種別」については、該当するものに○を付けること。
※ 同居していても、生計維持者ではない祖父母等、社会人の兄弟姉妹については、記入不要。

	授業	・2026年10月1日現在の家族の構成を記入 ・生計維持者、就学者、社会人の兄弟姉妹、生計維持者の扶養に入っていない祖父母を除く、18歳以上の世帯全員について記入すること。
続柄		

- ・同一生計内で別居の者がいる場合は別居欄に○を付す。
- ・同一生計者とは、次の①または②の者を指す。
 - ①父母等と同居している家族
 - ②別居の場合でも所得税法上父母等の扶養親族である場合
(源泉徴収票や確定申告等の扶養親族欄に記載されている場合)
- ・予備校、各種学校等在籍者は就学者ではないため、この欄に記入。

- ・勤務先は、具体的に記入(仕事を2つ以上している場合はすべて記入すること)
 勤務先:〇〇会社、〇〇市役所、〇〇市立〇〇小学校等
 事業主:〇〇商店経営等
 無職で収入がある:主婦、無職、退職金支給、雇用保険受給、傷病手当金受給、年金収入等
 無職で全く収入がない:無職・無収入
- ・「〇収入に関する事項」の欄については無職でも収入があれば収入の金額を記入

○特別な事情がある世帯(生計維持者が扶養する家)

奈良女子「障害者がいる世帯」とは、家族(本人を含む)が下記のいずれかに該当する世帯。

- (1)身体障害者福祉法に基づき、「身体障害者手帳」の交付を受けている人
- (2)公害疾病の認定を受けた者でかつ当該公害による身体上の障害がある人
- (3)原爆被爆者で身体機能に障害がある人
- (4)精神上の障害により事理を弁識する能力を欠く状況にある人もしくは知的障害のある人と判定される人
- (5)常に就床を要し複雑な介護を要する者

くださるよう必要書類を

私は、202
添えて申請しま
申請にあたり
これに虚偽の

奈良女 花子